

SG2 物理と生物を繋ぐ

メンバー

(教員) 佐々真一、御手洗菜美子、寺川剛、立川正志

(学生) 院生、学部生 数名

発表者 鈴木隆人

活動内容

前半（5月-8月）

御手洗菜美子氏による講義
（全8回）

1. 遺伝子発現
2. 遺伝子発現制御機構
3. 遺伝子突然変異
4. 細胞内のフィードバック制御
5. 細菌とウィルスの競争と共存

後半（10月-1月）

- 各人が課題を設定をし、取り組む
- 月1, 2の頻度で取り組みの発表 & 議論（オンライン）

ポスターの紹介

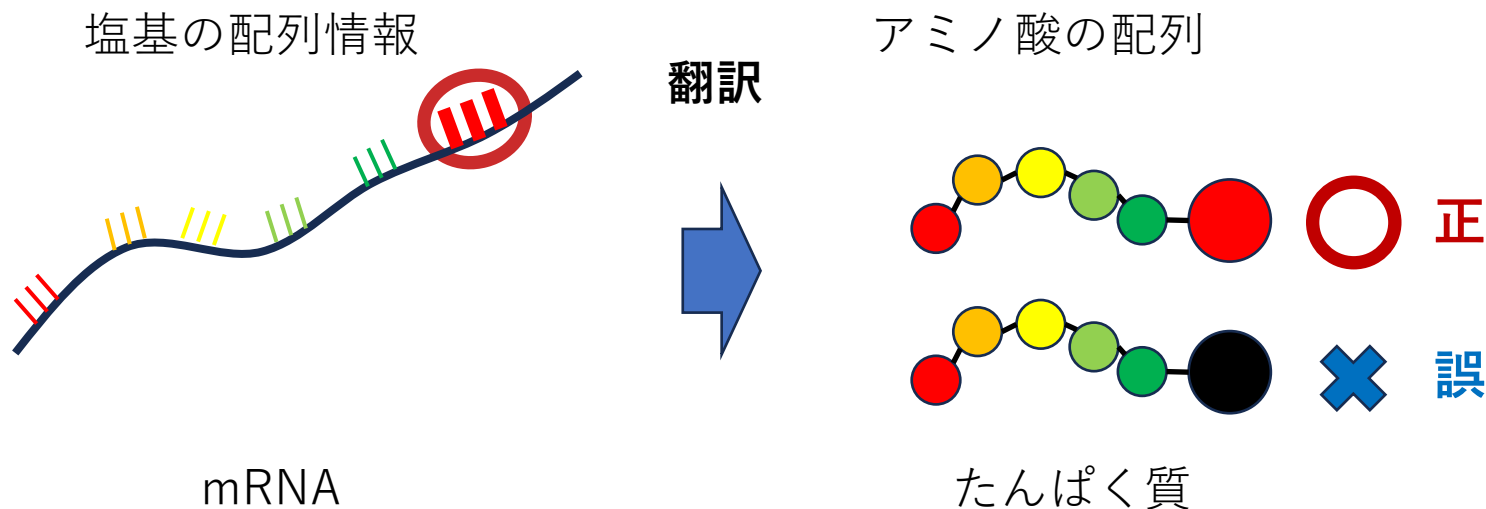
Kinetic Proofreading (Hopfield, 1974)

Hopfield, J. J. (1974). *Proceedings of the National Academy of Sciences*, 71(10), 4135-4139.

生体反応には**高い特異性**を持つものがある → その**機構**は何だろうか？

↓
正しいものと間違っものを区別する性質

例) たんぱく質合成の翻訳過程



誤りは**一万回に一回**
(実験事実)

ポスターでは、Kinetic Proofreading (Hopfield, 1974)の解説と数値計算を説明します！